

受 験 番 号

令和8年度 教職大学院

【教育課題に関する論述問題】(90 分)

(解答は別に配る用紙に書いてください。)

教職大学院 I 期入試
(一般選抜 I)

【問 題】

【問1】

現行の学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」が重視されています。特に「対話を通した学び」は、児童・生徒が他者との意見交換を通じて自らの考えを再構築し、学びを深める重要な手段となります。

そこで、あなたの得意な教科を一つ選び、学年や単元を例示しながら、「対話」を重視した授業像について説明しなさい。(600～800 字)

【問2】

小中一貫教育については、平成 27 年に学校教育法等が改正され、平成 28 年度から、義務教育学校、中学校併設型小学校及び小学校併設型中学校が制度化されて以降、導入する学校数は年々増えています。小中連携を含めれば、多数の地域・小中学校で取り組まれています。

このことについて、なぜ、小中一貫・連携教育が近年急速に普及するようになったのか、あなたの考えを述べなさい(600～800 字)。その際、以下の 3 点を考慮すること。

- 制度のあらましの説明
- 導入の社会的背景や政策の意図
- 小中一貫・連携教育の利点や課題